

3 骨粗しょう症検診

1 概要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定した。

2] 判定基準

		異常認めず	要指導	要精検
音響的骨評価値	男	2.630以上	2.351～2.629	2.351未満
($\times 10^6$)	女	2.428以上	2.158～2.427	2.158未満

3] 事後指導

骨粗しょう症予防の為の適切な食習慣や運動習慣等について、保健師による個別指導を実施した。

2 実施状況

16市町から検診の委託を受け13,600人（男性584人、女性13,016人）を実施した。

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要指導 (%)	要精検 (%)
男	39歳以下	14 (50.0)	5 (35.7)	2 (14.3)
	40～44歳	4 (50.0)	2 (50.0)	0 (0.0)
	45～49歳	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	50～54歳	9 (33.3)	4 (44.4)	2 (22.2)
	55～59歳	37 (64.9)	11 (29.7)	2 (5.4)
	60～64歳	138 (57.2)	45 (32.6)	14 (10.1)
	65～69歳	247 (56.3)	79 (32.0)	29 (11.7)
	70～74歳	132 (59.8)	44 (33.3)	9 (6.8)
	75～79歳	2 (50.0)	0 (0.0)	1 (50.0)
	80歳以上	0 (-)	- (-)	- (-)
計	584	335 (57.4)	190 (32.5)	59 (10.1)
女	39歳以下	1,420 (75.8)	325 (22.9)	18 (1.3)
	40～44歳	1,023 (81.1)	182 (17.8)	11 (1.1)
	45～49歳	983 (79.0)	192 (19.5)	14 (1.4)
	50～54歳	1,163 (67.1)	329 (28.3)	54 (4.6)
	55～59歳	1,455 (42.3)	670 (46.0)	170 (11.7)
	60～64歳	2,157 (30.4)	1,127 (52.2)	375 (17.4)
	65～69歳	2,741 (25.0)	1,434 (52.3)	621 (22.7)
	70～74歳	1,539 (21.9)	776 (50.4)	426 (27.7)
	75～79歳	373 (17.4)	184 (49.3)	124 (33.2)
	80歳以上	162 (8.6)	68 (42.0)	80 (49.4)
計	13,016	5,836 (44.8)	5,287 (40.6)	1,893 (14.5)
総数	13,600	6,171 (45.4)	5,477 (40.3)	1,952 (14.4)